

サステナビリティ

大塚商会は、ミッションステートメントに掲げる使命、目標、行動指針の実践で、「環境面」と「社会面」の課題の解決に真摯に取り組み、かつ最適なガバナンス体制を構築することで、持続可能な社会の実現と持続的な企業価値の向上を目指していきます。

2022年のトピックスを紹介します。

■サステナブル調達ガイドラインの策定と主要な取引先への取り組み状況調査

地球上で起きている環境問題や人権・労働問題に対して、地球と社会との調和を保ちながら持続的な成長が可能な商品・サービスの提供を実現するために、サプライチェーンを構成するパートナーとの取り組みを強化し、より大きな社会的責任を果たす必要があります。

当社では2022年4月に「サステナブル調達方針」、8月に「サステナブル調達ガイドライン」を策定し、主要な取引先に対し、取り組み状況の調査を行いました。

今後も定期的に調査を行い、サプライチェーン上のリスク等を洗い出し、改善する機会にしています。

■CDP質問書への回答

CDPは、投資家、企業等が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営している英国のNGOです。世界の上位企業に対し環境に関する質問書への回答を要請しています。各社の回答はスコア付けされた上で投資家の投資判断等に活用されます。CDPのスコアは、環境スチュワードシップの向上を目指して、下位から「情報開示レベル(D-、D)」、「認識レベル(C-、C)」、「マネジメントレベル(B-、B)」、「リーダーシップレベル(A-、A)」という4つのレベルと8つのスコアで成り立っています。

当社では、2021年から「気候変動」質問書に回答しており、2022年はスコア「B」となりました。



■大塚商会ハートフル基金

「大塚商会ハートフル基金」制度は、2003年から実施している社員と会社のマッチングギフト制度です。2022年は、ウクライナの人々に対する人道支援を行っている団体に助成を行いました。

支援先の一つ、AAR Japan[難民を助ける会]は、モルドバで現地青年会議所と協働し、ウクライナ避難民が地域社会に溶け込み、生活に慣れることを目的としたコミュニティセンターを開設しています。

ハートフル基金の支援でセンターに家具が入りました。ウクライナ避難民が、地域で安心して生活できるための支援に活用されています。



■アマゾン森林再生プロジェクト

アマゾンの熱帯林は、地球全体の気候を安定させるための鍵を握るだけでなく、地球上で最も豊かな生物多様性があり、「気候」と「生物多様性」の二つの側面から最重要地域です。

当社は、2022年7月からコンサベーション・インターナショナルと共に、10haの荒廃した土地に、森の仕組みにならった形で多様な果樹や樹木を植えていくアグロフォレストリーシステムを導入し、多様な樹木を育てることで森林再生に取り組んでいます。アマゾンに生計を依存している地元の人々の食料安全保障や生計向上にも寄与する活動です。



© IDESAM



© Flavio Forner